

米国神経放射線学会：American Society of Neuroradiology (ASNR) は、神経放射線分野の専門家6,000名以上を会員とする学会です。1962年の設立以来、神経放射線学の発展に寄与すべく活動しています。

## 神経放射線領域の必読誌

American Journal of Neuroradiology (AJNR) は 頭頸部および脊椎の画像診断を含む神経画像診断のあらゆる側面をカバーし、関連分野に従事するすべての専門家にとっての主要な情報源として国際的に認知されている査読誌です。

患者のケア、研究、治療、トレーニング、生涯学習などに役立ちます。



Welcome to the new AJNR, Updated Hall of Fame, and more. [Read the full announcements.](#)

AJNR is seeking candidates for the position of Associate Section Editor, AJNR Case Collection. [Read the full announcement.](#)



Current issue,  
[Download \(PDF\)](#)

Please select a filter to see more focused content in the Most Read, Most Recent, and My Content areas below:

All

Clinical Practice

Content below is relevant to my Clinical Practice

Research

Content below will show the latest Research

Artificial Intelligence

Content below is related to Artificial Intelligence (AI)

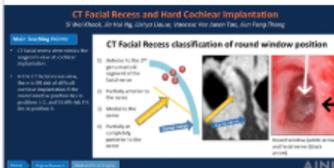
Most Recent

Most Read

Contrast-Induced Sialadenitis After NeuroIR



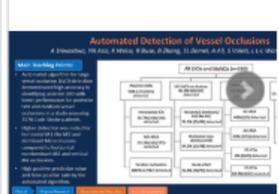
CT facial recess and hard cochlear implantation



Technical Tips for CT-Guided Fibrin Glue Patching



Automated Detection of Vessel Occlusion



[View More](#)

- Journal Impact Factor: 3.7 (2024)
- 5-Year Impact Factor: 3.7
- ISSN: 1936-959X (Online)
- Editor-in-Chief : Max Wintermark
- Online Only (Printは2024年末で廃止)

【日本総代理店】

# ユサコ株式会社



## ■ AJNR Update <https://www.ajnr.org/content/ajnr-update>

AJNRのウェブサイトがリニューアルされました！今回の刷新では、臨床および研究ニーズを強力にサポートする新機能が多数追加され、ユーザーエクスペリエンスが飛躍的に向上しています。

分野の発展に寄与した功績を称える年次イベント：Hall of Fameの最新版も公開されました。過去10年間にわたり神経放射線学分野とAJNRに多大な貢献を果たした個人や機関、最も引用された論文が発表されています。

また、編集委員会の尽力と投稿プロセスの改善により論文審査期間が大幅に短縮されました。

## WHAT'S NEW IN 2025



## ■ 国内研究者論文紹介 <https://www.usaco.co.jp/article/?category=105>

ユサコ株式会社のホームページでは、AJNR やその他学術雑誌に掲載された国内研究者の論文の日本語抄訳をご紹介します。

論文タイトル	Image Quality Evaluation for Brain Soft Tissue in Neuro -endovascular Treatment by Dose-reduction Mode of Dual-axis "Butterfly" Scan
論文タイトル (訳)	脳血管内治療における低線量モードButterfly CBCTの画質評価
DOI	10.3174/ajnr.A8472
著者名 (敬称略)	細尾 久幸 他
所属	筑波大学附属病院 脳卒中科/筑波大学 医学医療系 脳卒中予防治療学講座

### 抄訳

【背景】脳血管内治療において出血性合併症を検出のため、Flat panel CBCTによるCT like imageの撮像は必須である。従来のCBCTと比較し、1軸平面に加え、垂直方向の振り子様の動きも加わったButterfly CBCTでは、画質が向上したが若干高線量だった。本研究では、線量を低減したButterfly CBCTの画質を評価した。【方法】予定脳血管内治療症例で、70%線量と50%線量Butterfly CBCTに振り分け、従来のCBCTと画質を比較した。

【結果】20例ずつ計40例。従来のCBCTと比較し70%線量Butterflyではアーティファクト軽減、コントラストおよび皮髄境界識別能改善がみられた。50%線量 ではアーティファクト軽減、後頭部を除くコントラスト軽減は認めたが、皮髄境界識別能は改善なかった。

【結論】線量を低減しても、Butterfly CBCTの軌道により、アーチファクト軽減、コントラスト向上、皮髄境界識別能の改善を認めた。しかし、特に骨の干渉のある後頭部においては、コントラストや皮髄境界識別能に、線量低減の影響がみられた。